

事業計画書

募集要領 1.趣旨 内『市民活動助成金事業を実施する上で求められる視点』及び 4.助成部門 各助成部門内の『評価視点』も参照してください。
※詳しくは、QA にも記載しています。

団体名：

事業名	様式第 1 と同じ事業名を記載
取り組む 犬山市の課題	取り組もうとする課題について、その現状や背景なども含め、できるだけ具体的に記載してください。
事業の目的	上記の課題を踏まえ、どのような状態を目指すのか、地域社会のニーズにどのように応えるかなどについて記載
事業内容	<p><対象者></p> <p>事業の対象者(年齢層、背景、価値観など)を具体的に記載</p> <p><実施場所></p> <p>事業の実施場所(施設名、〇〇地区など)を記載</p> <p><実施方法></p> <p>どのような方法で上記の目的を達成するのか、具体的な手段を記載 ※イベントや講演会など、集客が必要な事業については、周知方法についても記載してください。</p>

交付決定される 4 月中旬頃～翌年 2 月末
の期間内で設定

事業期間	事業開始予定日			年	月	日					
	事業完了予定日			年	月	日					
事業計画	時期	内 容									
		この事業を遂行するために、いつ頃何を行うか、事業計画を記載 ※例：事業打合せ、会議、講座(イベント)の開催、アンケートのまとめ等									
事業の効果	事業を行うことにより期待される効果を記載 ※地域社会のニーズに、どのようにつながるかを記載してください。										
成果目標	この事業の終了時点で、事業の目的に向けて何をどこまで達成するか、数値を用いて具体的に記載 (例)①〇〇に関心を持つ市民及び担い手が増える 【講演会 2 回、参加者 100 人、協力者 5 人】 ②地域社会のニーズに基づいた場やサービスを提供する 【試行 1 回、毎月 1 回定期開催】										
今後の展望	今回の事業を踏まえ、今後どのような事業を実施するか、どのように活動していくかなど、将来の展望を記載										

※記入欄が不足する場合は、枠を広げて記載してください。

活動費用の内訳書

この助成金は市民活動の促進・発展を支援するものです。
限りある助成金が有効に活用されるか、助成金終了後も継続できる見込みがあるかも、審査の対象になります。

(収 入)

様式第 1「助成金申請額」と同一金額

団体名

科目	予算額 (円)	内訳
助成金	〇〇,〇〇〇円	
参加費	△△,△△△円	〇〇円×☆人=△△,△△△円
		参加料〇円×〇人等の積算根拠を記載
	×××,×××円	

「参加費(事業実施に伴う収入)」「寄付金」「〇〇補助金」「団体会計」などの項目を記載

支出合計と一致します

科目ごとの内訳及び積算根拠
※対象外経費は募集要領を参照

科目	予算額 (円)	内訳
報償費	□□円 (助成金充当)	講演会講師 ○円×△回=□□円
旅費	□□円	講演会 ○円×☆人×△回=□□円
食糧費	□□円	講演会スタッフ用お茶 ○円×☆人×△回=□□円
消耗品費	□□円	事務用品 □□円
印刷製本費	□□円 (助成金充当)	講演会チラシ印刷 □□円
通信	□□円	チラシ郵送費 ○円×△通=□□円
手数料及び保険料	□□円	体験会保険料 ○円×△回=□□円 事業実施による事故等のリスクを考慮し、保険加入の可否を検討してください。
人件費	□□円 (助成金充当)	講演会スタッフ ○円×☆人=□□円
使用料及び賃借料	□□円	講演会会場費 □□円
計	×××,×××円	※1点につき5万円を超える支出がある場合は、経費内訳のわかる見積書等も提出

収入合計と一致します

1、2 の項目は、下記の評価視点に該当する項目です。
・課題性(地域課題の背景や現状を踏まえ、そのニーズを適切に捉えている。)
・有効性(取り組む地域課題の解決策として効果的である。)

取り組む犬山市の課題と目指す犬山市の姿

団体名

1. 事業計画書の「取り組む犬山市の課題」で書いた内容を踏まえた事業のポイントを記入してください。

事業の内容ではなく、課題解決のために、どんなところに重点を置いて実施するかを記載してください。
客観的に現状が数字で表せるものがあれば、併せて記載してください。

2. この事業を通して設定した課題がどう改善されるか、目指す犬山のイメージ像やビジョンを記入してください。

※必要に応じて、他の主体との連携、協働や、市総合計画等との整合、SDGsにおける位置づけも記載してください。

必要に応じて、イメージ図や出典も記載してください。